

暮らしも平和も存る！
かもあわせましょう。



止めましょう！
テロも戦争も
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団

2022.12.15. No.1905.

郵相談はお気軽に

TEL FAX とも **3905-0970**

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

「軍拡増税反対」30分と24人

緊急シル
投票結果

12月14日(水)赤羽西口之案施

午後4時30分

5時まで



アンケートパネルを持つのは、秋山けんたろうさん。赤羽西口で「パネルを持ってよびかけると、次に、増税の怒りは大きい。」

ジェンダー平等 夢と希望がもてる社会へ

吉良よし子 参議院議員と講演・対話のつどい

2022年
12月17日(土)
午後3時～
URニューヴェル赤羽台
12号棟集会室

ここが聞きたい、私も話したい

- COP27と日本の課題 ●インボイスとは？ ●平和外交って？
- なぜフードバンク？ ●子ども食堂なぜ？ ●赤羽駅にタワマン？
- 給付型奨学金と学生にも住宅支援を ●杉並が新しい区長になって



ぜひ参加してください
大いに語り合しましょう

12.17講演と対話のつどい実行委員長
秋山けんたろう

実行委員会事務局・連絡先
03-3905-0970

秋山・さがら事務所

日本共産党

☑ ミニ区政報告し材。

区議 さがらとしこ
「市の歴史と今」学生支援

☑ 区長が住民の声が変わった
杉並区の変化を語る

☑ 86道路と住民運動：和田壮一郎弁護士



日本共産党北区区民会は、おのれをおこせました。
2022年11月29日
発行 北区中1巻3-5-15

■北区議会第4回定例会 所管委員会における住民陳情審査の態度表明と結果（主なもの）

消費税の5%への引き下げ
を求める陳情 **採択 × 不採択**

共産	自民	公明	立憲	都フア
採択	不採択	不採択	継続	不採択

※立憲は最終本会議では「不採択」を表明

インボイス制度の中止を
求める陳情 **採択 × 不採択**

共産	自民	公明	立憲	都フア
採択	不採択	不採択	継続	不採択

※立憲は最終本会議では「不採択」を表明

補聴器購入費用の助成を
求める陳情 **採択 ▲ 継続審査**

共産	自民	公明	立憲
採択	継続	継続	(欠席)

卒業証書入れの公費配布
を求める陳情 **採択 ▲ 継続審査**

共産	自民	公明	立憲	無所属	維新
採択	継続	継続	継続	継続	不採択

請願・陳情とは

請願・陳情は、区民が議会に対し、施策の実現を要望することができる制度です。議会ではこれらを審査・議決し、議会としての態度を決定します。採択、趣旨採択、不採択のいずれも過半数に満たない場合は継続審査となります。



2022年年末恒例＊助けあい 桐ヶ丘ミニバザーのお知らせ

12月18日(日) 11時～13時
赤羽北3丁目・さがら事務所前で

バス停「赤羽北3丁目、東京メガシティ前」

46年間続く、冬の風物詩が桐ヶ丘バザーです。秋に続きコロナ対策をしながら、ミニバザーとなります。今回は、シクラメン、百合、ルスカスなどのお花と、まぜご飯、赤飯、ぼたもちなどのテイクアウト(お持ち帰り)。アシタバ、キヌサヤ、牛乳せんべいは三宅島から直送。しらす、みかんも。

◆なお、収益金の一部は、例年のように北区社会福祉協議会の募金に協力させていただきます。

◎年末助けあい 桐ヶ丘バザーは、私が区議になる前から、地域の方々によって実行委員会との話し合いを重ね、準備されてきました。

◎私が忘れられないことは、5年半に及んだ三宅島民の方との避難生活でした。今も、交流を続けたいです。

二度の戦争はしない。させない。日本国憲法は宝物。世界の宝です。
 北區というまちを、二度の軍都にしてはならない。北區平和都市宣言を。
 米軍とともに 相手国に攻め込めば、日本に戦火を呼びこむ。これほど危険なことはありません。

2022.12.15. 「さがらしホト」 No.1905.

< 転載 >

しんぶん 赤 旗 日曜版

2022年12月4日号
 より

軍事対軍事か平和なアジアか

日本は大きな岐路



記者会見する志位和夫委員長=11月24日、国会内

志位委員長が会見

「日本は大きな岐路に立っている。戦争の心配のないアジアを進むのか、軍事対軍事の危険な道に突き進むのか、二つの道が問われている」。日本共産党の志位和夫委員長は記者会見（11月24日）で、この間の党独自の外交活動を踏まえて、政府・自民党の外交方針を厳しく批判。東アジアすべての国を包摂する平和の枠組みの構築を訴えました。

志位氏が二つの道。もう一つは、政府道として対比したの道。もう一つは、政府は、一つは自ら参加し力をもつ。もう一つは、積極的提案を重ねたアジア政党国際会議（I-CAPP）の報告書（22日発表）が示した「軍事対軍事」の危険な道です。

「一言で言えば、ある国を排除し世界や地域を分断していく」といふもの。最悪の形は軍事ブロックです。そうした排他的な対応でなく、すべてを包み込む包摂的な平和の枠組みをつくらうという日本共産党の「外交ビジョン」の考え方が取り入れられ、アジアの政界の総意として確認されました。（詳報は「赤旗」日曜版11月27日号の志位委員長インタビューで）

有識者会議報告書 戦争国家づくり

志位氏は「日本共産党が主張してきた『外交ビジョン』の方向こそアジアの平和の本流に立ったものだ」といふことが明らかになった点でも今度の会議は重要な意義を持つものとなった」と強調しました。

「水差すことのないよう、議論を深めていくべきだ」としています。志位氏は「大企業からは取らず、国民全体で負担するといったら、消費税だ。結局は消費税を上げる道を開き、大軍拡のために大増税する」といふとんでもない報告書だ」と批判しました。

アジアの平和の流れとの対比で、志位氏が強く批判したのが政府の有識者会議の報告書です。「一言で言えば『戦争国家づくり』の青写真だ」と厳しく批判し3点を指摘しました。

敵基地攻撃能力

第一は、報告書が「反撃能力」＝敵基地攻撃能力の保有と増強が必要だとして、今後5年を念頭に、同能力を持てるようにしていると述べている点です。相手国に脅威を与えるような能力を保有することとは憲法上できない」とした従来の政府解釈との整合性をどうとるのかは一切書いていません。

大軍拡の財源は

第二は、大軍拡の財源です。報告書は「国民全体で負担する」としながら「企業の努力

共産党「外交ビジョン」こそ本流

「外交不在」が浮き彫りになりまし

た。志位氏は「日本共産党が主張してきた『外交ビジョン』こそ本流に立ったものだ」といふことが明らかになった点でも今度の会議は重要な意義を持つものとなった」と強調しました。

第三は、報告書が外交不在、軍事一辺倒になっていることだ。志位氏は「日本共産党は一野党であっても、『9条に基づき平和外交』について知恵を絞った取り組みを行い、アジアの政界の前向きな合意をつくるために貢献してきた。ところが自民党には、どういふ外交で日本の平和を守るのか、は何もなく、軍事一辺倒しかない」と指摘しました。志位氏は報告書は「実に愚かで危険な文書」だと痛烈に批判しました。